





お

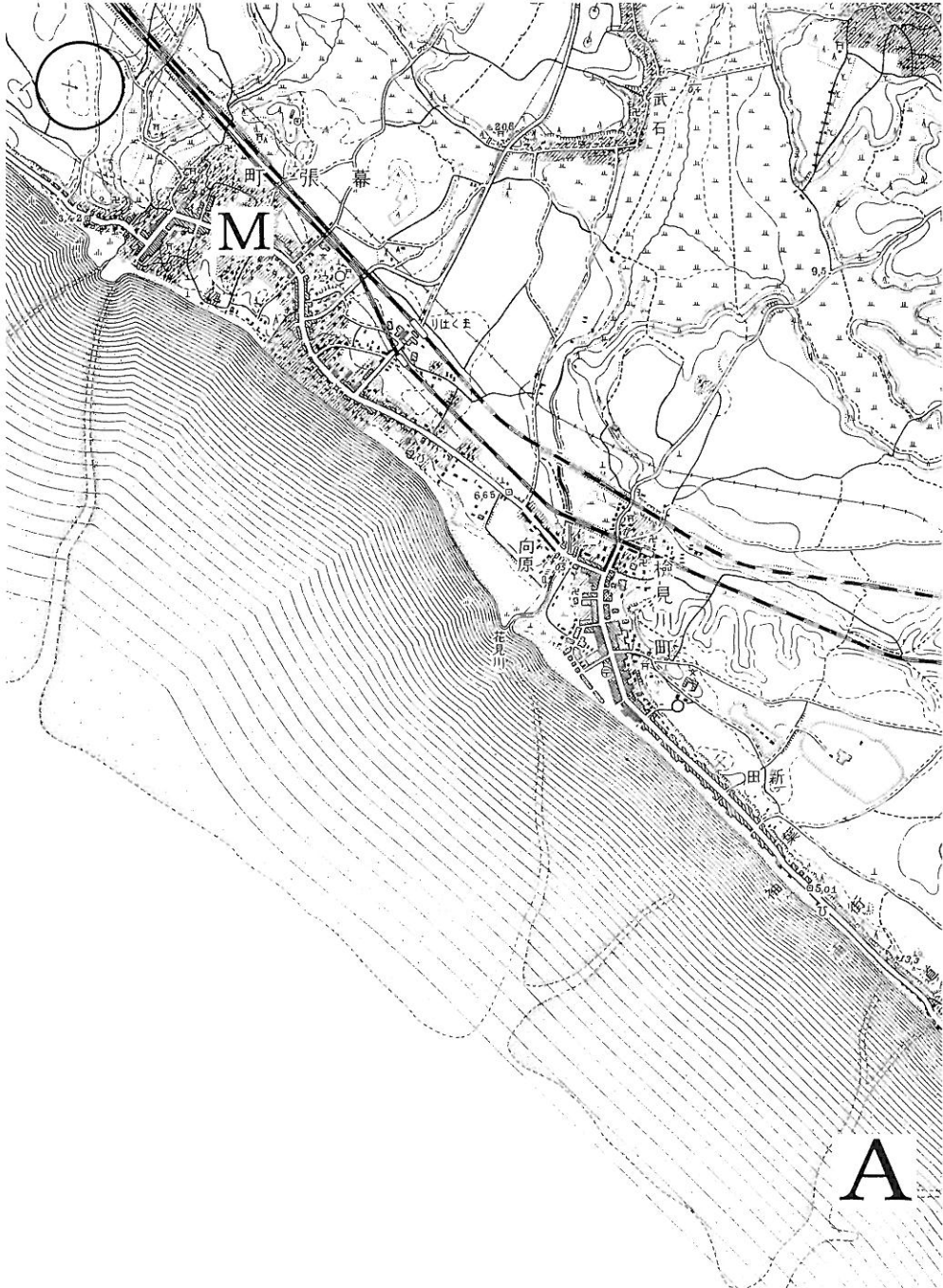
地理 B 問題

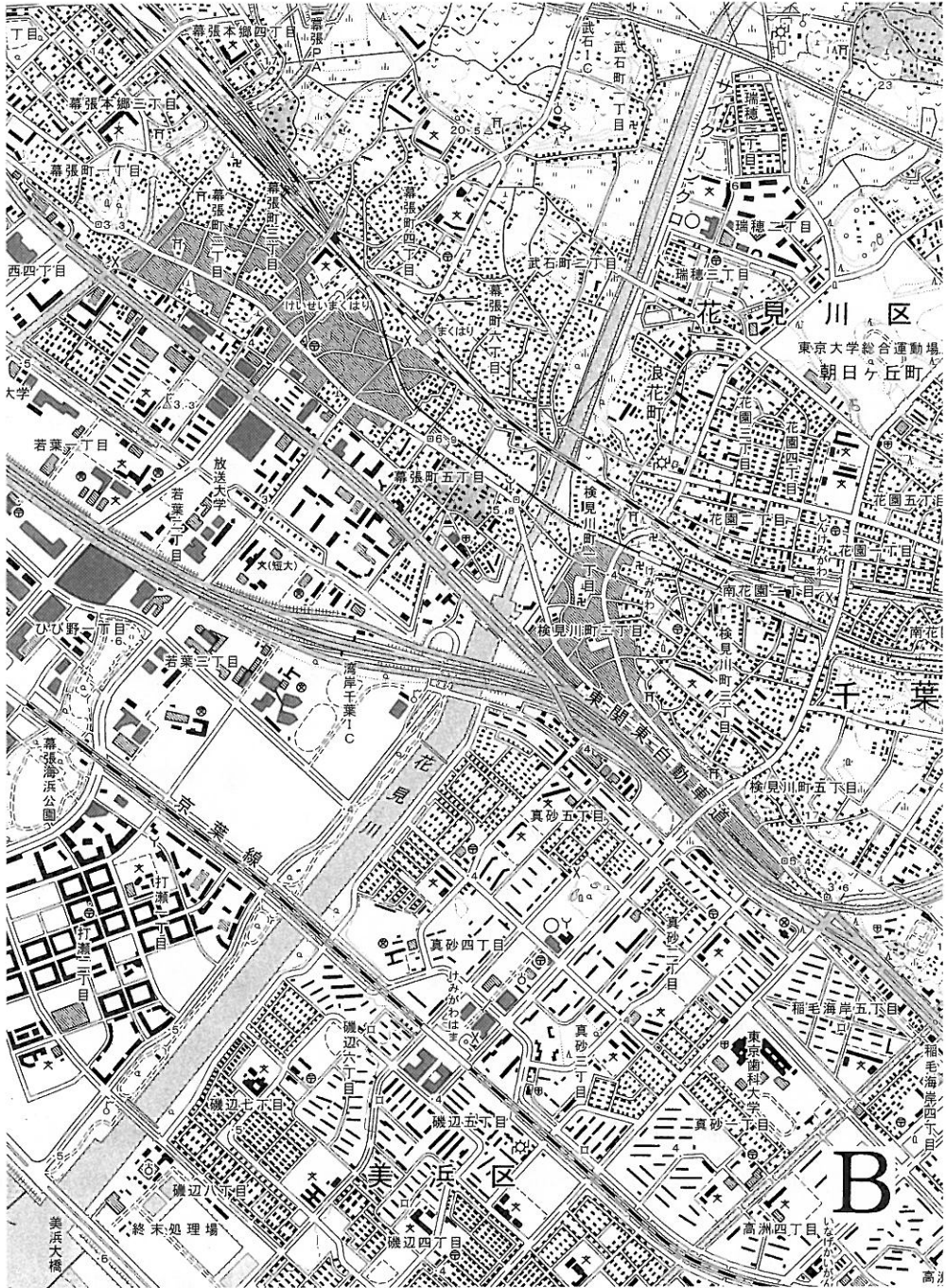
はじめに、これを読みなさい。

1. この問題用紙は 19 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
3. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。
5. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。ただし、この問題用紙は、必ず持ち帰ること。
10. 試験時間は 60 分である。
11. マーク記入例

| 良い例 | 悪い例 |
|---|---|
|  |    |

〔 I 〕 次の A 図(昭和 7 年発行)と B 図(平成 21 年発行)は、ともに 25,000 分の 1 地形図(原寸大)である。両図をよく見て、以下の設問に答えよ。





問 1 A 図上で、幕張町市街地(M)が立地する地形の説明として、適切なものを次の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 沿岸流が運搬した砂が堆積した砂州上に立地している。
- ② 海底が隆起して出来た平坦な段丘上に立地している。
- ③ 河口に形成された三角州上に立地している。
- ④ 氷期に形成された大きな砂丘上に立地している。
- ⑤ 河川沿いに形成された自然堤防上に立地している。

問 2 以下は、A 図上、幕張町市街地(M)の北側に見られる水田地帯の説明文である。文中の[ア]～[ウ]にあてはまる語句を、それぞれの語群①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

この水田が広がる場所は、排水不良な[ア]で、谷津または谷地とよばれる地帯である。この付近は、かつて海水が侵入した深い入江で、その後この一帯は[イ]となり、未分解の植物である[ウ]が堆積するようになった。

- ア：① 後背湿地 ② 干拓地 ③ 氾濫原
④ 旧河道 ⑤ 三日月湖
- イ：① カール ② エスチュアリー ③ ウバーレ
④ ラグーン ⑤ トンボロ
- ウ：① ポドゾル ② 泥 炭 ③ 泥 流
④ 火砕流 ⑤ シラス

問 3 A 図上、幕張町市街地(M)の北西方向に印されている円内の地図記号として、適切なものを次の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 温泉・鉱泉 ② 史跡・名勝 ③ 鉱口・洞口
- ④ 小おう地 ⑤ ガス井

問 4 この地域の臨海部が広く埋め立てられた要因に関する説明文のうち、適切なものを次の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 都市化が進み埋め立てに利用できる産業廃棄物が多量に放出されたため。
- ② 東京湾に流入する大きな河川があり埋め立て面積が広く取れるため。
- ③ 東京湾岸の中でも地盤が固く工場や住宅の用地として適しているため。
- ④ 海岸に潮干狩りができるような遠浅な干潟が広がっていたため。
- ⑤ 海流の影響による海岸浸食や台風による高潮の恐れがないため。

問 5 A 図上の花見川旧河口から B 図上の美浜大橋までの直線距離として、もっとも近いものを次の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 0.75 km ② 1.25 km ③ 2.50 km
- ④ 4.50 km ⑤ 5.00 km

問 6 B 図上において、花見川と京葉線の交差点からみて南東側(磯辺付近)と南西側(打瀬付近)では、土地利用が異なる。その違いについて、解答欄の枠内に簡潔に述べよ。

問 7 2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震により、この地域の埋立地では、液状化現象が発生した。液状化現象が発生しやすい場所に関する説明文として、適切なものを次の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 関東平野の台地上で宙水が広範囲に分布する所。
- ② 扇状地のうち扇央部分で粗粒な礫が厚く堆積した所。
- ③ 河口付近で均質な砂が表層を覆う地下水位が高い所。
- ④ 火山噴火により大規模な土石流が堆積した所。
- ⑤ 構造平野のなかで被圧地下水が大量に自噴する所。

〔Ⅱ〕 [A]～[C]の文章を読み、以下の設問に解答せよ。

[A] 国家の主権が及ぶ領域は、領土・領海・領空からなり、国家にとって、いずれも不可侵の固有の領域である。しかし、さまざまな歴史的経緯から、国境を接する国々の間で長年、国境が未画定であったり、また、技術の進歩によって、無価値と思われていた領域に新たな価値が見いだされて、領有権をめぐる争いが生じたりしている。

問 1 国家の領域に関する以下の説明文のうち、正しい説明を次の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 領空の範囲は領土の上空無限遠まで及ぶとされるが、人工衛星が宇宙空間に多数打ち上げられている今日、宇宙空間における領空通過の調整に多くの困難をきたしている。
- ② 1994年発効の国連海洋法条約では、領海3海里の原則と、排他的経済水域200海里の設定、沿岸国の海洋資源の権利などが認められた。
- ③ 排他的経済水域には、天然資源の開発や海洋環境の保護・保全についての権利が沿岸国にある。また、船の航行や海底ケーブルの敷設も沿岸国の了承を必要とする。
- ④ 沿岸から沖合20kmまでを大陸棚といい、それは沿岸国の固有の領土として認められている。
- ⑤ 南極大陸では、1961年発効の南極条約により、各国の領有や軍事利用、鉱産資源の開発が禁止されている。

問 2 国境に関する以下の説明文のうち、正しい説明を1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 数理国境とは、緯線や経線に沿って設定された国境のことをいい、北緯49度線はアメリカ合衆国とカナダの国境の一部となっている。
- ② 自然国境とは、山脈や河川などの自然障壁に沿って設定される国境のことをいい、ユーフラテス川はイランとイラクの国境となっている。
- ③ EU域内ではすべての人に対する出入国審査や関税が免除され、国境の持つ意味は次第に薄れつつある。
- ④ アフリカ諸国の境界線の多くが直線状になっているのは、第2次世界大戦後、国連が暫定的に設定した国境が固定化したためである。
- ⑤ 同じ植民地から分離して独立したインド・パキスタン・バングラデシュは、独立後もカシミール地方の帰属をめぐる争っている。

問 3 大陸棚の開発などによって水産資源や鉱産資源が発見されると、その占有権などをめぐって領海問題が発生することがある。

- (1) 南シナ海の南沙諸島は、もともと無数の岩礁からなる無人島であった。しかし周辺地域で石油資源の埋蔵が確認されると、中国をはじめとして沿岸国がそろって領有権を主張するようになった。以下の①～⑤から、この諸島の領有権を主張していない国を1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① インドネシア ② フィリピン ③ ブルネイ
- ④ ベトナム ⑤ マレーシア

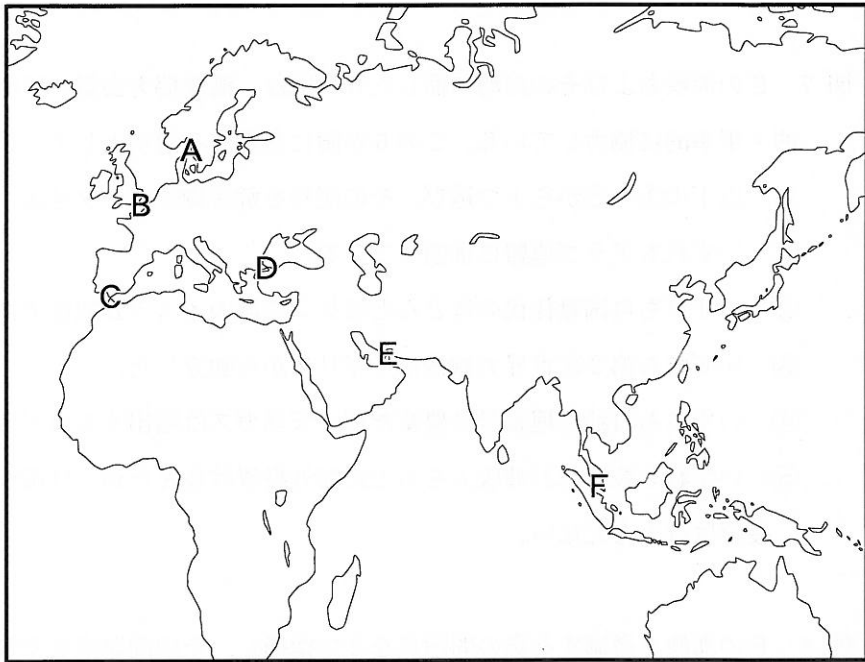
(2) 北極海は氷に閉ざされた世界であったため、これまで領有権を巡る問題は顕在化していなかった。しかし、新しい航路の開拓や膨大な埋蔵量のエネルギー資源の可能性などが期時されるようになると、アメリカ合衆国やカナダ、ロシアをはじめとした沿岸諸国が、その領有権を巡って争うようになった。以下の①～⑤のうち、もっとも北極点に近い場所に領土を有している国を1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① アイスランド ② スウェーデン ③ デンマーク
④ ノルウェー ⑤ フィンランド

問 4 日本の領土に関する以下の説明文のうち、正しい説明を以下の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 日本の北限は北緯 45 度を越えるのに対し、最南端の南鳥島は北回帰線よりも南に位置する。
- ② 日本の最東端と最西端は経度にして約 30 度の幅があり、これは時差にして約 2 時間に相当する。
- ③ 関門海峡は外洋と内海を結ぶ重要な航路にあるため、日本の領海内であっても海峡の一部を公海として定め、外国船舶の自由航行を認めている。
- ④ 千島列島は、日本固有の領土であるにもかかわらず、1945 年の日本の敗戦後にソビエト連邦が、その解体後はロシア連邦が占拠し続けており、日本政府はロシア連邦に対して領土の返還を求めている。
- ⑤ 東シナ海に浮かぶ竹島は、日本と韓国の間で領有権をめぐる争いが起きている。

[B] 国際海峡とは、領海内であっても、国連海洋法条約によって、定められた範囲で自由に航行ができる海峡をいう。以下の図A～Fは、代表的な国際海峡を示したものであり、また、表中①～⑥は、A～Fの国際海峡の沿岸国をそれぞれ1つずつとりあげ、その特徴を示したものである。



| | 面積 万 km ² | 人口 万人, 2009 年 | 1 人当たり 国民総所得 米ドル, 2007 年 | 日本からの輸出 億円, 2008 年 | 日本への輸入 億円, 2008 年 |
|---|-------------------------|------------------|--------------------------------|-----------------------|----------------------|
| ① | 162.9 | 7,420 | 3,540 | 1,955 | 18,966 |
| ② | 78.4 | 7,482 | 8,030 | 3,218 | 434 |
| ③ | 50.6 | 4,490 | 29,290 | 4,562 | 2,591 |
| ④ | 44.1 | 825 | 47,870 | 2,279 | 2,161 |
| ⑤ | 33.1 | 2,747 | 6,420 | 17,054 | 33,780 |
| ⑥ | 24.3 | 6,157 | 40,660 | 17,070 | 7,738 |

資料) 『データブック・オブ・ザ・ワールド 2010』

問 5 A～Fの海峡のうち、鉄道トンネルが開通している海峡の沿岸国を、表中の選択肢①～⑥から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 6 A～Fの海峡のうち、海峡の両岸がすべて同一国である海峡の沿岸国を、表中の選択肢①～⑥から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

問 7 Eの海峡およびその内湾に面した6か国は、湾岸協力会議を組織して政治的・軍事的に協力している。この6か国に共通する説明として、正しいものを、以下の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① いずれもアラブ連盟に加盟している。
- ② いずれも自国籍住民のほとんどはスンニ派のイスラム教徒である。
- ③ いずれも第2次世界大戦後にイギリスから独立した。
- ④ いずれも石油の埋蔵量は豊富だが、天然ガスは輸出するほど多くない。
- ⑤ いずれも豊富な石油収入をもとに对外投资は盛んだが、外国からの国内投資はほとんどない。

問 8 Fの海峡を通過する際の問題点を2つ指摘し、その問題点をそれぞれ解答用紙の枠内に簡潔に述べよ。

[C] 国境を越えた人々の交流や物資の移動が活発化した背景には、交通の発達がある。そのうち海上交通は、速度の点ではほかの交通手段に劣るものの、重い貨物や容積の大きい貨物を、低運賃で遠くまで運ぶことができるので、重要な交通手段として位置づけられている。

問 9 次の表中のA～Eは、世界の船舶主要貨物の方面別荷動き量の構成を示したものであり、A～Eは原油、鉄鉱石、石炭、穀物(以上百万トン、2007年)およびコンテナ(千TEU、2008年)のいずれかである。

| A | | B | | C | |
|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
| アジア域内 | 15.6% | 中東→アジア | 32.4% | 大洋州→アジア | 18.7% |
| アジア→北米 | 12.9% | 中東→北米 | 6.5% | アフリカ→欧州 | 4.1% |
| アジア→欧州 | 12.5% | 中東→欧州 | 6.1% | 北米→欧州 | 2.5% |
| 北米→アジア | 6.1% | アフリカ→欧州 | 5.9% | 北米→アジア | 2.1% |
| その他 | 52.9% | その他 | 47.7% | その他 | 72.6% |
| 世界計 | 100.0% | 世界計 | 100.0% | 世界計 | 100.0% |
| D | | E | | | |
| 大洋州→アジア | 34.3% | 北米→アジア | 16.7% | | |
| 中南米→アジア | 20.3% | 北米→中南米 | 11.7% | | |
| アジア域内 | 14.0% | 北米→アフリカ | 5.3% | | |
| 中南米→欧州 | 10.7% | 北米→欧州 | 2.9% | | |
| その他 | 20.7% | その他 | 63.3% | | |
| 世界計 | 100.0% | 世界計 | 100.0% | | |

資料) 平成22年版『海事レポート』

(1) 表中のDに該当する貨物を、以下の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 原油 ② 鉄鉱石 ③ 石炭
④ 穀物 ⑤ コンテナ

(2) 表中のEに該当する貨物を、以下の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 原油 ② 鉄鉱石 ③ 石炭
④ 穀物 ⑤ コンテナ

問10 以下の表は、世界の港湾のコンテナ取扱量上位の港湾を順に示したものである(2008年、単位は千TEU)。表中のBに該当する港湾を以下の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

| | |
|-----|--------|
| A | 29,920 |
| 上 海 | 27,980 |
| 香 港 | 24,490 |
| 深 圳 | 21,410 |
| B | 13,430 |

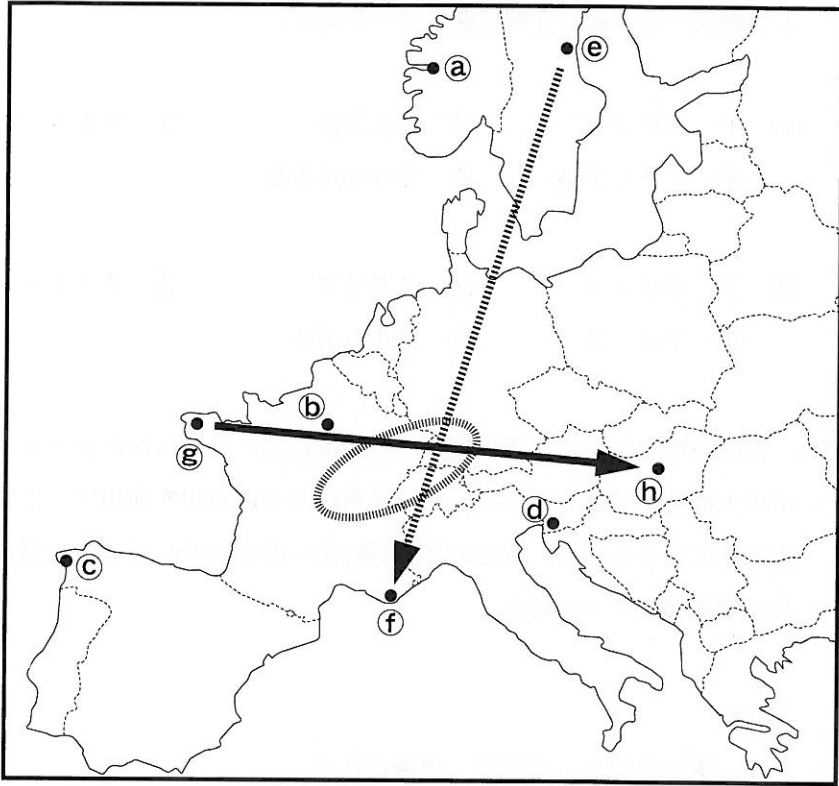
資料) 平成22年版『海事レポート』

- ① 仁 川 ② 神 戸 ③ シンガポール ④ 釜 山 ⑤ 横 浜

問11 以下の文章①～⑤のうち、正しい内容のものを1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 日本の海運企業が運航する外航商船のうち、他国に船籍がある商船を便宜置籍船というが、2009年時点で約 $\frac{2}{3}$ はリベリアに船籍を置く便宜置籍船である。
- ② 日本の外航商船に乗船する船員のほとんどは外国人船員であり、とくにフィリピン人船員が多い。
- ③ 日本の外航商船の船種のうち、総トン数ベースでもっとも多いのは油送船(タンカー)であり、次いで自動車専用船である。
- ④ 日本の新造船建造量(総トン数)は、かつては世界の約半分を占めたこともあったが、現在は韓国や中国の成長が著しく、世界第5位以下に落ち込んでいる。
- ⑤ 船舶の解体に際しては、重量物の処理や環境汚染対策などに高度な技術があるので、ほとんどが先進国で行われている。

〔Ⅲ〕 島嶼を省略したヨーロッパ大陸の地図を参照し、以下の設問に答えよ。



問 1 バルト海に面した国土をもつ国の首都として、正しくないものを以下の

①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① ストックホルム ② ミンスク ③ モスクワ
④ リガ ⑤ ワルシャワ

問 2 (1)地中海の島々①～⑤のうち、もっとも北に位置するものを1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。また、(2)その島が属する国名を①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- (1) ① クレタ島 ② コルス島 ③ サルデーニャ島
 ④ シチリア島 ⑤ マリョルカ島

- (2) ① ギリシャ ② イタリア ③ スペイン
 ④ フランス ⑤ ポルトガル

問 3 地図の中央付近に楕円形で囲った領域には、いくつかのヨーロッパ主要河川の上流域が含まれている。この楕円内から流れ出す河川で、下記の[条件](1)と(2)に合うものを、下記の[河川名]①～⑥からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

[条件]

- (1) 東方に向かって流れ、黒海に注ぐ。
(2) 南方に向かって流れ、地中海に注ぐ。

[河川名]

- ① エブロ川 ② ドナウ川 ③ ライン川
④ ローヌ川 ⑤ ロワール川 ⑥ ドン川

問 4 地図上①～④の地点付近では、それぞれ典型的な地形が観察できる。

- (1) ①と②の地点付近で観察できる地形として、もっとも適切なものを下記の〈地形のキーワード欄〉の①～⑤からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。
- (2) ①と②の地形のキーワードに関する説明として、もっとも適切なものを下記の〈地形の説明欄〉の①～⑤からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

〈地形のキーワード欄〉

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① カルスト | ② ケスタ | ③ デルタ |
| ④ フィヨルド | ⑤ リアス | |

〈地形の説明欄〉

- ① 河川が運んだ大量の土砂が河口に堆積した三角形の平野。
- ② 氷河期にできた多数の氷食谷に海が入り込んだ海岸。
- ③ 石灰岩地帯に特有の鍾乳洞やドリーネなどが散在する地形。
- ④ 河川侵食で谷が発達した地域に海が入り込んだ入り江の多い海岸。
- ⑤ 緩やかに傾斜する地層の硬い部分が長い崖状になった地形。

問 5 以下の文章は、図中の 2 本の矢印(㉔⇒㉕と㉖⇒㉗)に沿った植生や気候に関するものである。文中の空欄 ～ に適する語句を、それぞれの選択肢①～④から 1 つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

北欧の㉔地点付近の植生は現在も針葉樹を主体とする であり、海を渡って大陸部に入ると自然林が残っていた中世までは や混交林が卓越していた。両地域とも の影響を強く受けるため 1 年中降水があるが、風上に山脈や広い陸地があるため降水量は多くない。南下してアルプス山脈に至るとそのような樹林は姿を消して高山気候の地域となり、部分的には氷河も存在する。さらに南下した地中海沿岸の㉕地点付近は冬に雨が多く、オリーブの栽培に適するような を森林植生の特色とする。一方、フランス西端部の㉖地点付近から東進すると、アルプス山麓部までは、海洋の影響を徐々に減じながらも や混交林に適した気候条件となる。アルプス山脈の東側に至ると、周囲を山脈に囲まれてやや乾燥した㉗地点付近の盆地に と呼ばれる草原植生が広がる。

〈空欄 の選択肢〉

- ① ステップ ② セルバ ③ タイガ ④ ツンドラ

〈空欄 の選択肢〉

- ① 常緑広葉樹林 ② 常緑針葉樹林
③ 落葉広葉樹林 ④ 落葉針葉樹林

〈空欄 の選択肢〉

- ① 季節風 ② 局地風 ③ 偏西風 ④ 貿易風

〈空欄 の選択肢〉

- ① 硬葉樹林 ② しゅろ科樹林
③ 照葉樹林 ④ やし科樹林

〈空欄 の選択肢〉

- ① アルプ ② プスタ ③ メセタ ④ リャノ

〔IV〕 次の文章を読み、下記の間 に答えよ。

東南アジアは、インドシナ半島からマレー半島の大陸部と、それに連なる島嶼部からなる。16世紀以降、欧米列強による植民地化が進んだ地域である。第2次世界大戦後、1950年代までに、そのうちの多くは独立を果たした。

この地域は、太平洋とインド洋をつなぐ海上交通の要衝にあり、古くから人と物資の交流が深く、交易ルートとして重要な位置を占めていた。また、言語や宗教など、文化的交流も活発に行われた。

この地域の宗教の分布をみると、インドからヒन्दウー教が伝播し、やがて仏教が広まった。また、アラビア商人によりイスラム教がもたらされ、16世紀以降になるとキリスト教が伝えられた。こうして、長い年月をかけて、重層的な世界が⁽³⁾つくり出された。

問 1 下線部(1)に関連して、表中の空欄(ア)～(ウ)に該当する国名を、下記の①～⑦からそれぞれ1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

| 独立年次 | 独立時の国名 | 独立時の宗主国名 |
|-------|--------|----------|
| 1945年 | インドネシア | (ア) |
| 1946年 | フィリピン | (イ) |
| 1948年 | ビルマ | (ウ) |
| 1949年 | ラオス | フランス |
| 1953年 | カンボジア | フランス |
| 1957年 | マラヤ連邦 | イギリス |

- | | | |
|-----------|--------|--------|
| ① イギリス | ② ドイツ | ③ フランス |
| ④ ポルトガル | ⑤ オランダ | ⑥ スペイン |
| ⑦ アメリカ合衆国 | | |

問 2 下線部(2)に関連して、下記の①～⑤のうち、ヒन्दゥー教徒の割合がもっとも高い島を1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① バリ島 ② ジャワ島 ③ スマトラ島
④ セブ島 ⑤ ルソン島

問 3 下線部(3)に関連して、下記の①～⑤のうち、イスラム教徒の割合がもっとも高い国を1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① ベトナム ② フィリピン ③ マレーシア
④ シンガポール ⑤ ミャンマー

問 4 東南アジアのなかには、「緑の革命」により、農業が変わってきた国もみられる。この農業の変化を示す説明文として、誤ったものを下記の①～⑤から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 生育日数が短い高収量品種の導入と普及が進んだ。
② 灌漑・排水施設が整備された。
③ トラクターなどの農業機械の導入が進んだ。
④ 無肥料・無農薬栽培が普及した。
⑤ 雇用労働力の利用が進んだ。

問 5 ベトナム戦争が激化するなかで、1967年に東南アジア地域内の経済・社会・文化の発展、政治・経済の安定などを目的とするASEAN(東南アジア諸国連合)が結成された。ASEANに関する下記の問に答えよ。

- (1) 設立メンバー5カ国のうち、いち早く工業化に成功し、アジアNIEsの一員となった国の国名を解答欄に記せ。
- (2) 1967年に、5カ国により結成された後、1984年に1カ国、1995年に1カ国、1997年に2カ国、1999年に1カ国が加盟し、10カ国で構成されるようになった。下記は1984年、1995年、1999年に加盟した国名を加盟年次に従って組み合わせたものである。組み合わせとして適当なものを、下記表中の①～⑥から1つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

| ASEAN 加盟年次 | | | |
|------------|-------|-------|-------|
| | 1984年 | 1995年 | 1999年 |
| ① | ブルネイ | カンボジア | ベトナム |
| ② | カンボジア | ベトナム | ブルネイ |
| ③ | ベトナム | ブルネイ | カンボジア |
| ④ | カンボジア | ブルネイ | ベトナム |
| ⑤ | ブルネイ | ベトナム | カンボジア |
| ⑥ | ベトナム | カンボジア | ブルネイ |

- (3) この地域には、域内貿易の自由化と活性化を図る目的で、1990年代はじめに東南アジア自由貿易地域(圏)が創設された。この東南アジア自由貿易地域(圏)の略称を、アルファベット4文字で、解答欄に記せ。

問 6 下表は、東南アジアのある国々の貿易品目構成を示す。表中の(あ)～(う)に該当する国名を、解答欄に記せ。

| | | 輸 出 | 構成比(%) | 輸 入 | 構成比(%) |
|-----|----|--------|--------|-------|--------|
| (あ) | 1位 | 電気機械 | 28.5 | 電気機械 | 29.2 |
| | 2位 | 原 油 | 6.6 | 一般機械 | 8.3 |
| | 3位 | パーム油 | 6.4 | 石油製品 | 4.7 |
| | 4位 | 液化天然ガス | 6.1 | 鉄 鋼 | 4.6 |
| | 5位 | 石油製品 | 4.4 | 原 油 | 4.5 |
| (い) | 1位 | 液化天然ガス | 9.5 | 石油製品 | 15.4 |
| | 2位 | 原 油 | 9.1 | 電気機械 | 12.8 |
| | 3位 | パーム油 | 9.0 | 一般機械 | 12.5 |
| | 4位 | 石 炭 | 7.7 | 原 油 | 7.8 |
| | 5位 | 電気機械 | 7.1 | 鉄 鋼 | 6.9 |
| (う) | 1位 | 原 油 | 17.5 | 一般機械 | 13.0 |
| | 2位 | 衣 類 | 15.2 | 石油製品 | 12.8 |
| | 3位 | 履 物 | 8.4 | 電気機械 | 10.8 |
| | 4位 | 電気機械 | 8.2 | 鉄 鋼 | 9.3 |
| | 5位 | 魚介類 | 7.7 | 繊維と織物 | 8.2 |

資料)『データブック・オブ・ザ・ワールド 2011』

